



おいかわ つねお 議員
及川 恒雄 議員

■中山間地域等直接支払制度について

Q

6期対策の変更内容
と今後の取り組み集落
数、また、内容変更によ
り事業に影響が出る集
落への継続に向けての
方策について伺う。

A

変更点は大きく3
点、「集落戦略の作成」
から「ネットワーク化
活動計画の作成」への
変更と「集落協定広域
化加算」と「生産性向上
加算」の廃止、「ネット
ワーク加算」と「スマー
ト農業加算」の新設で
ある。令和7年度を最
後に3つの集落協定か
ら活動を取り止める意
向があったことから、
各集落の事業継続に向
けては制度の周知を図



りながら相談に対し県
と確認しながら助言を
行っていく。

■道路整備について

Q

主要地方道北上東和
線、一般県道花巻田瀬
線の重要性和改良整備
について伺う。

A

主要地方道北上東和
線は通勤や中部病院へ
の救急搬送等アクセス
道路として、一般県道
花巻田瀬線は田瀬湖で
の各種大会やワカサギ
釣りなどの観光道路と
してどちらも重要な路
線と認識している。改
良整備について県に対
し粘り強く要望する。

■花巻市独自の条例
制定について

Q

昨年9月定例会で採
択となった請願「障が
いのある人もない人も
共に学び共に生きる花
巻市まちづくり条例」
の検討状況を伺う。

A

岩手県身体障害者福
祉協会、花巻市身体障
害者福祉協会との意見
交換を実施したところ
であり、今後も両団体
および市内各障害福祉
団体と意見交換を進
め、県外市町村からの
情報収集を行い花巻市
独自の障がいのある人
もない人も共に学び共
に生きる花巻市まちづ
くり条例制定の必要性
について検討したい。



さと げん 議員
佐藤 現 議員

■5歳児健康診査に
ついて

Q

昨年6月定例会で採
択となった請願「5歳
児健康診査」の実施見
込みについて伺う。

A

5歳前後は対人関係
や言葉の遅れなどの特
性が確認されやすい時
期である。子どもの特
性を早期に見出し、特
性に合わせた適切な支
援を行うため5歳児健
診は必要と認識してい
る。しかし、すでに乳
幼児健診を市内、北上
市の小児科医に協力を
いただいている中、さ
らに負担が重くなる。今
後も医師会、保育園等
の関係機関と協議のう
えに5歳児健診の在り
方について検討を進め
る。



Q

花巻南ICから花巻
東高校までの「市道花
巻南インター中北万丁
目線」の歩道整備が不
十分。景観と安全確保
の対応について伺う。

A

特に雑草繁茂が著し
い花巻南ICから花巻
南高校までの当該区間
は、令和6年度に2回
の除草作業を実施し
た。しかし雑草の成長
が想定以上に早く、歩
道への浸食を防ぎきれ
なかった。今後は、草
刈り回数を増やすと共
に、歩道縁石まわりに
土が堆積し雑草が繁茂
し易い環境となってい
ることから除草作業の
ほか路面清掃車を使用
した清掃を行う予定。

■総合花巻病院への
経営支援について

Q

将来的な医療体制に
向けた具体的な方策と
医師確保も含めた支援
の在り方に一定の線引
きや枠組みが必要と思
うが市の方針について
伺う。

A

令和6年11月に金融
機関への弁済計画やガ
バナンス強化を含む改
定事業再生計画が成
立。経営改善には経営
体制の刷新と医師の確
保が重要であり、令和
7年度予算に1858
万円を計上した。全国
的に民間病院の赤字問
題があるため支援の枠
組みは必要だが、基幹
病院の後方支援として
総合花巻病院の存続は
重要。また、新理事会
への理事派遣は現時点
で考えていない。



かとう けん 議員
鹿討 康弘 議員

※野球タウン：女子野球タウン認定や大谷翔平選手の活躍、菊池雄星選手の複合野球施設「K.O.H」、富士大野球部の活躍により「野球タウン」として認知度が向上している。

■農業問題について

Q

オーガニック農作物
の安心・安全。健康確保
のために、消費者に対
する啓発についてどの
ような対策を考えてい
るのか伺う。

A

昨年11月27日に農業
者や農業法人等と共に
オーガニックビレッジ
宣言を行った。今後、花
巻市有機農業実施計画
に基づき、取り組みを
始める。令和7年度は、
引き続き講演会および
マルシェの開催をする
ほか、スーパー等に販
売所を設置する働きか
けを予定。今後もSN
S、各種パンフレット
等さまざまな媒体を活
用する。



あべ かずお 議員
阿部 一男 議員

Q

農業者は農業資材高
騰のもと、厳しい経営
状況に置かれている。
市独自の農業支援に取
り組まないか伺う。

A

国の物価指数調査で
は令和2年を100とし
た場合、令和5年4
月122、令和6年12
月120と下落してい
る。肥料は令和5年
4月に最高の155で
その後は下落傾向にあ
る。市は稲作農家、畜
産農家、園芸生産農家
に各種補助事業を実施
している。市は資材の価
格動向や農畜産物の販
売状況を収集し、国県
の支援策を踏まえなが
ら対応を検討する。



■学校給食費負担軽減
の取り組み継続を

Q

子ども・子育て支援
事業計画における学校
給食費負担軽減事業は
継続して取り組むべき
ではないか。

A

近年の食材や燃料費
の価格高騰は、子育て
環境に相当の影響を及
ぼしている。市では、価
格高騰に伴う学校給食
費の上昇による保護者
負担を軽減するため、
令和5年度・6年度と
支援し、保護者負担は
据え置きとした。令和
7年度は、年間で約6
700万円の上昇が見
込まれるが、国の交付
金を活用し、子育て世
帯の経済的負担の軽減
策として取り組む。



てるい めいこ 議員
照井 明子 議員



■市独自の保育士配置
基準設定について

Q

埼玉県富士見市では
1歳児、3歳児、4歳児
の独自の基準を設け、
予算措置をしている。
市独自の配置基準の
拡充について伺う。

A

本市の現状として、
保育士が不足している
ことにより待機児童が
発生しており、さらに
保育士が不足し、待機
児童が増加することが
予想され難しい。市で
は単独の負担で保育士
確保・保育所等受入促
進事業を行っており、
年度当初から9月まで
の期間、国の配置基準
以上に保育士を雇用し
た施設の運営者に対し
人件費補助をしている。

Q

大規模スポーツ大会
の開催は、地域活性化
また本市の競技スポー
ツの活躍の勢いの後押
しになると考えるが今
後の取り組みについて
伺う。

A

はなまきスポーツコ
ンベンションビユー
ローを主に、大規模大
会やスポーツ合宿の誘
致を行い、競技スポー
ツ・生涯スポーツの推
進を図っている。関心
を高め競技力向上につ
なげるため、全国規模
の大規模な大会の開催
に努めている。



ふじね きよし 議員
藤根 清 議員

Q

岩手県と盛岡市共同
で建設整備された「き
たぎんボールパーク」
のように、老朽化した
岩手県営体育館の建設
が進められる場合、本
市への建設誘致に取り
組む考えはないか伺
う。

A

県側は市町村に充実
した機能を備えた施設
が複数あり、担う役割
や今後の改修状況等につ
いて将来人口の展望
や県財政を踏まえ維持
改修等が望ましいとし
ている。本市としては
現在の施設の規模で不
足はない。また、財政
的にも相当な金額の負担
があり現段階では建設
誘致は困難と考える。

